

団体名：(有)みどりの館みやま

代表者：黒田 晋

所在地：岡山県玉野市田井

#### 〔ポイント〕

平成7年玉野市は、地域の関係機関・団体が協力の元、「農林水産振興センター」(農産物直売所、飲食コーナー等)を整備した。

このセンターは、希望する全ての農家が地産地消活動に参加でき、生産者と消費者を結びつける拠点施設として発足、翌年には鮮魚コーナーを設置する等、順次施設の充実、拡大を図ってきた。

設置当時は、市内の第3セクターが運営する施設の経営は大変深刻な状況にあり、同様の運営による施設整備については、市議会を始め、関係機関等から厳しい意見もあったが、これからの地域農業を支えていくために必要不可欠な拠点施設であることから、運営方法を十分検討していくこととし、不安を抱えながらも開設に踏み切った。

本施設の運営については、管理運営主体の責任体制を明確にし、より機動的に運営するため、平成10年度に「有限会社みどりの館みやま」を設立した。運営は順調に進み、販売登録者も当初177名のスタートから現在では、455名にまで増え、地産地消の基本である生産者と消費者との幅広い交流に支えられ、予想以上に来客数、売上高ともに伸び、今では年間利用客数約40万人、売上高は4億円を超える、県内でもトップクラスの農産物直売所にまで成長した。

#### 【活動内容】

##### 1. 地域農業の振興・活性化に貢献

農産物直売所を核とした地産地消活動により、産地化が図られていない少量の農産物や、整形が悪く市場出荷では規格外の農産物などについても販売。

##### 2. 「みどりの館みやま」農産物直売所は、農家が毎朝持ち込み、値段をつけ、生産者名を付けて陳列。農家は、可能な限り店内で消費者との交流に取り組む。野菜の食べ方や農薬の使用等について、説明。

生産者の顔が見える「安心」や、新鮮さを生かした「安全」が消費者に認められ、リピーターも増え、今では年間約40万人が訪れ、売上金額でも安定して4億円。

消費者に認められ県内有数の農産物直売所に成長

##### 4. 大学や企業等との連携による地場農産物を活用した加工品開発に取り組み、スイートポテト、ソフトクリーム、うどん等、多くの加工品を開発、商品化。